

EXHIBIT COLLECTION

at MUSIC FAIR 2018



DEVISER Co Ltd

ギターを通して見えるもの



ギターづくりとその背景

2018 楽器フェアに向けて、
私たちはひたすら楽器を作りました。
それもただのギターじゃなくて
ぶっ飛んだギターづくりを目指しています。

その過程で、結果的に様々な人やモノ、技術とのコラボレーションが多かった様に感じます。

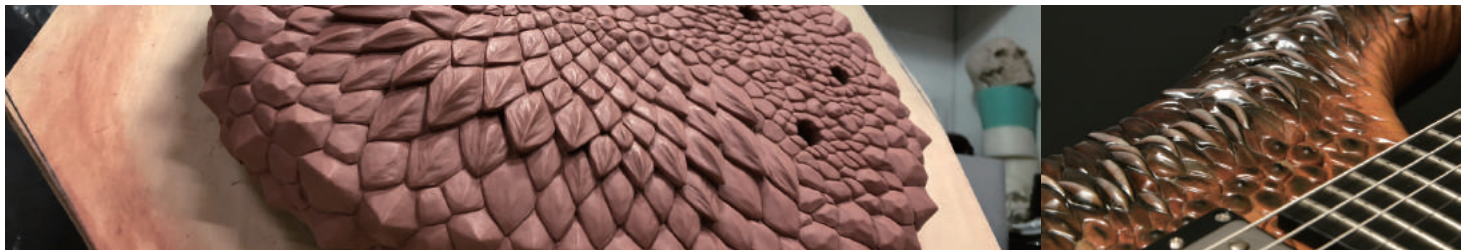
展示されているギターの背後に見える物語。
そんなものを少しでもお伝えできればと思います。
書ききれない部分も沢山あります。
どのギターにも隠れた物語が必ず存在しますから、
そこに思いを馳せつつ展示をご覧ください。

平成最後の楽器フェア・ディバイザーブースを余すこと無く
お楽しみください！



触りたくなるギター。

飛鳥ファクトリーのフラッグシップ「STR Guitars」と特殊メイク・特殊造形の世界における第一線で活躍するアーティスト「Amazing JIRO」コラボレーション。



copyright 2018 Shanic Maiyel All rights reserved

Amazing Jiro

アメイジング・ジロー
 特殊メイクアーティスト



STR OS624

NOT FOR SALE

特殊造形・特殊メイクの世界で第一線のアーティスト Amazing JIRO と STR Guitars が奇跡のコラボレーション。龍の鱗のようにも見える、独特のボディトップが見るものの視覚を刺激します。

CM、映画、雑誌他各種メディアで話題騒然となっている注目のアーティストです。その発想力とそれを具現化する技術をお確かめください。2018 楽器フェア・ディバイザーブースでは左画像のモデルのほか、ボディにペイントを施したモデルを展示します。



Amazing JIRO

特殊メイク・造形アーティスト。現在は造形だけにとどまらずクリエイティブディレクターとしても活躍する。制作実績、受賞歴ともに多数。詳しくはウェブサイトをご確認ください。

Shanic Maiyel ウェブサイト
<http://shanic-maiyel.tokyo/>

ライブペインティング開催!!

日時：2018年10月20日
 場所：楽器フェア・ディバイザーブース (F-09)
 Amazing JIRO 氏の技術を垣間見ることが出来る特別なデモンストレーションを開催！
 STR Guitars からインスパイアされた唯一無二のイメージネーションが巨大なキャンバスに描かれます。

Karuizawa-bori

柴崎雅寿

軽井沢彫り職人・軽井沢彫りシバザキ

軽井沢ならではの質感

長野県軽井沢町と言えば避暑地のイメージ。ではそのイメージはどこから来るのでしょうか。

1886年(明治19年)にイギリス公使館付宣教師がこの地に着目し、別荘を建てたことがその発端とされています。

別荘はもちろん西洋建築のものとなりますが、その建築様式にあった家具が求められたことから「軽井沢彫」が生まれます。軽井沢彫の特徴はこの西洋建築に馴染むフォルムと和を感じさせる桜の彫刻です。西洋と和の絶妙なバランス感が軽井沢彫の真骨頂と言えるのではないのでしょうか。

ディバイザーではこれまで桜の木を使用した楽器作りを行ってきました。このスタンスをより拡張する形で実現したコラボレーション、Momoseのギターに軽井沢彫を施すのは、軽井沢で昭和22年に創業し、美智子皇后が結婚の際に調度品として手箱を求められたことでも知られる工房「軽井沢彫シバザキ」。

柴崎雅寿さんは今回のギターについてこう話します。「今回手掛けたギターの彫刻には、ネック、ボディともに『枝垂れ桜』を

イメージしました。桜の彫刻が仕上がるまでには、『ノミ打ち』から始まり、様々な刀を使い分けます。点描のような点々は『星打ち』と言う技法で表現。これにより、さらに桜を際立たせました。

二色の濃淡で彩色した桜の花が、サクラ材の贅沢なギターを一層華やかにできたと感じます。

軽井沢の別荘文化120年間の中で育まれた技法を使用した貴重な逸品です。」

ユーザーの方へ向けてこんな言葉をいただきました。「桜ギターと言えば『ディバイザー』。そんな会社さんと一緒にものづくりをする機会を頂け、みなさんにご提供できることが大変光栄です。桜の彫刻得意とする軽井沢彫の真骨頂。誰も見たことのない稀なギターが完成しましたので、是非手に



Momose

MT- 軽井沢彫

¥450,000(税抜)



取ってみて下さい。」

伝統を大事にしながら、コラボレーションにオープンな姿勢で向かうことができる柴崎さん。軽井沢に立ち寄ったときには、ぜひ「軽井沢彫シバザキ」で軽井沢彫の家具、工芸品にも触れてみてください。



柴崎雅寿

軽井沢彫シバザキ・ウェブサイト
<http://sibazaki.com>

Craftsmanship × Craftsmanship

伝統は身近にある

日本古来から伝わる技術であり文化である漆塗りや軽井沢彫りという技を、ギターを媒介にして手元に感じる。



Tsuisyu-Nuri

岩原裕右

漆器職人・未空うるし工芸

STR Guitarsの特別モデルは長野県木曾地方の伝統工芸・木曾漆器職人、「未空うるし工芸」の岩原裕右さんによる「堆朱塗り」という技法で仕上げられました。

これは色の異なる漆を凹凸のある表面に塗り重ね、磨き上げることで玉杵の様な模様を浮かび上がらせる、木曾漆器の中でも特徴的な技法の一つです。青と黒を基調とした暗めのカラーリングで、ファクトリーの中でもハイエンドにあたるSTR Guitarsに相応しい質感に仕上がりました。

STR GUITARS
SINCE 2006

JTD0027

¥425,000(税抜)



2018 Music Fair EXOTIC WOOD CUSTOM

ギターで巡る木のものがたり。

ギターになっていなければ、知ることも無かった木があるかもしれない。木目が綺麗なだけなら選ばないかもしれない。もっと木を知るともっとギターを好きになるかもしれない。

もはや
桜 と言えば
ディバイザー

2014年のウクレレ製作にはじまり、アコースティックギター、エレキギター、ベースと各種モデルを作り続けてきました。桜のイメージに合わせてパープルハートという赤みの強い木材を指板やブリッジなど要所に使用しています。2018楽器フェアではさくらモデル最新デザインの他、"冬桜"も惜しみなく展示！！



Headway
GUITARS

HD The 2000

¥1,000,000(税抜)

ヘッドウェイの飛鳥チームビルドシリーズにおいて通算2000本目を記念する特別モデル「The 2000」。桜をテーマに「ツリー・オブ・ライフ」ならぬ「ツリー・オブ・サクラ」を表現しました。



WOODLINE HL 4 Fuyuzakura-MF'18
¥360,000(税抜) Limited 18

WOODLINE HL 5 Fuyuzakura-MF'18
¥380,000(税抜) Limited 18



T-MASTER/E Fuyuzakura-MF'18
¥280,000(税抜) Limited 18



MC-Fuyuzakura-MF'18 Limited 12
¥360,000(税抜)

MT-Fuyuzakura-MF'18 Limited 12
¥360,000(税抜)

MJM-Fuyuzakura-MF'18 Limited 12
¥360,000(税抜)

MJ-Fuyuzakura-MF'18 Limited 12
¥360,000(税抜)



JTD0029 SAKURA Limited 1
¥545,000(税抜)



HD-Fuyuzakura'19
¥350,000(税抜)

HF-Fuyuzakura'19
¥350,000(税抜)

HJ-Fuyuzakura'19
¥350,000(税抜)



HD-SAKURA/STD ¥250,000(税抜) **HJ-SAKURA/STD** ¥250,000(税抜)

HF-SAKURA/STD ¥250,000(税抜) **HC-SAKURA/STD** ¥265,000(税抜)

2018 楽器フェア特別カラー
ピンクバースト!



MT-ALL SAKURA ¥380,000(税抜) 2018 楽器フェア特別モデル



**ALL SAKURA BODY
& 3カラーラインナップ**



↑神代ケヤキの板材。長い時間を経て褐色に変化していることが隣の木材と比較してよくわかる。



MT-Jindai/J-MF'18
¥770,000(税抜) Limited 1



CATEGORY

Japanese Wood

神代木

今は緑が鬱蒼と生い茂る森の中、長い間地中深くに眠り続ける倒木。1000年以上この状態で眠り続けた木を「神代木(じんだいもく)」と呼びます。神の時代の木というのが呼び名の由来ですが、大抵は土地開発など、人間の意向で開発が進められた山から出土する形で発見されます。この神代木を大事に使った特別なギターです。



黒柿

黒柿は、カキノキの中でも木部に黒い筋が大きく入ったものを指します。黒柿はそのコントラストに魅力があり、工芸品などでも珍重されています。

MC-SE MF'18/KG
¥420,000(税抜) Limited 3

MT-SE MF'18/KG
¥420,000(税抜) Limited 3

MJ-SE MF'18/KG
¥420,000(税抜) Limited 3



栃

トチノキはメイプルに似た虎杓が出る個体が稀にあります。今回の楽器フェアではそんな極上の杓を持った材を惜しみなく使いました。

MC-SE MF'18/FT
¥420,000(税抜) Limited 3

MT-SE MF'18/FT
¥420,000(税抜) Limited 3

MJ-SE MF'18/FT
¥420,000(税抜) Limited 3



朴の木

ホオノキも木目が美しい木材。今回は取って暗めのバーストカラーで塗装することで、一層高級感が高まりました。

MC-SE MF'18/MG Limited 3
¥420,000(税抜)

MT-SE MF'18/MG Limited 3
¥420,000(税抜)

MJ-SE MF'18/MG Limited 3
¥420,000(税抜)



2018 Music Fair
EXOTIC WOOD CUSTOM

紅葉

2018 楽器フェアではじめてのお披露目となる楓(カエデ)を使用した「Autumn Leaves」ラインナップ。ボディに楓を使用し、さらに紅葉のインレイを随所に散りばめました。Momose モデルではヘッドロゴも秋の装いにアレンジ。季節感のあるショー特別モデルです。



指板には木で切り替えた紅葉のポジションマークが入る



Momose ロゴが紅葉仕様アレンジされている。



MC-Autumn Leaves-MF'18
¥360,000(税抜) Limited 12

MJM-Autumn Leaves-MF'18
¥360,000(税抜) Limited 12

MT-Autumn Leaves-MF'18
¥360,000(税抜) Limited 12

MJ-Autumn Leaves-MF'18
¥360,000(税抜) Limited 12



HD-Autumn Leaves
¥350,000(税抜)

HF-Autumn Leaves
¥350,000(税抜)

HJ-Autumn Leaves
¥350,000(税抜)



WOODLINE 417AC/AL/E MF'18
¥290,000(税抜) Limited 18

WOODLINE 517AC/AL/E MF'18
¥310,000(税抜) Limited 18

Buckeye Burl

Burl Maple

Spalted Maple

Momose



MC-SE MF'18/BEB
¥450,000(税抜) Limited 3

MT-SE MF'18/BEB
¥450,000(税抜) Limited 3

MJ-SE MF'18/BEB
¥450,000(税抜) Limited 3



MC-SE MF'18/BM
¥420,000(税抜) Limited 3

MT-SE MF'18/BM
¥420,000(税抜) Limited 3

MJ-SE MF'18/BM
¥420,000(税抜) Limited 3



MC-SE MF'18/SPT
¥420,000(税抜) Limited 3

MT-SE MF'18/SPT
¥420,000(税抜) Limited 3

MJ-SE MF'18/SPT
¥420,000(税抜) Limited 3

漆黒

Headway
GUITARS

JET BLACK

雑味のない「全くの黒」を表現するため、ブラックを基調としたカラーリングを施す「漆黒 JET BLACK」ラインナップ。静かで深く落ち着いた雰囲気仕上げるため、インレイ、ポジションマークも普段よりトーンを落とし、ミニマルでクールな印象に仕上げました。

幾何学模様をモチーフとするピックガードが全体のアクセントとして効いています。



HD-JET BLACK DX
¥360,000(税抜)

HJ-JET BLACK DX
¥360,000(税抜)

HN-JET BLACK DX
¥370,000(税抜)

HF-JET BLACK DX
¥360,000(税抜)

HC-JET BLACK DX
¥380,000(税抜)

HD-JET BLACK
¥300,000(税抜)

HN-JET BLACK
¥310,000(税抜)

HF-JET BLACK
¥300,000(税抜)

Bacchus
HANDMADE GUITARS

ショー展示モデルといえば、華やかでド派手なカラーリングも楽しみの一つ。今回 Bacchus Guitars では人気の 7 弦、8 弦モデル「T7-CUSTOM」「T8-CUSTOM」と注目のオリジナルシェイプ Surf Breaker モデルにて豊富なカラーバリエーションをラインナップしました。



雑味のない「全くの黒」を表現するため、ブラックを基調としたカラーリングを施す「漆黒 JET BLACK」ラインナップ。静かで深く落ち着いた雰囲気仕上げるため、インレイ、ポジションマークも普段よりトーンを落とし、ミニマルでクールな印象に仕上げました。

幾何学模様をモチーフとするピックガードが全体のアクセントとして効いています。

Colorful !!



2018年3月松本市岡田地区芥子望主山公園にある赤松を伐採した。この松を使ったギターを展示する。

すぐそばにある自然

松本市はマツクイムシによる松枯れ被害が深刻化し、緑が鮮やかだった里山は少しずつ枯れた松の茶色に変わっている。ギターとこの問題の間に関係はあるだろうか。



ディバイザー本社がある長野県は、マツクイムシによる松枯れ被害に頭を悩ませている。ディバイザー社内に松本市岡田地区の財産区議長（森林管理者）がいたことから、赤松を材料としてギターを作る「赤松ギタープロジェクト」がスタートした。2017年秋にプロトモデル1号機が完成したことを皮切りにプロト2号機が2018年2月に、5月には少数ながら製品版を発表するまでに至った。はじめは社内でも一部の人間を除いて及び腰だった感のあるこのプロジェクトだが、1号機 Surf Breaker が新聞、TV番組、ラジオ番組などマスメディアで取り上げられ、徐々に前向きに捉えられ始めた。これは取りも直さず、松枯れ問題が社内の人間にとって「他人事」から、自分が関係する「自分事」に変化したことを表している。赤松ギターを作ることで、松本市はじめ日本の里山が直面している環境問題を改

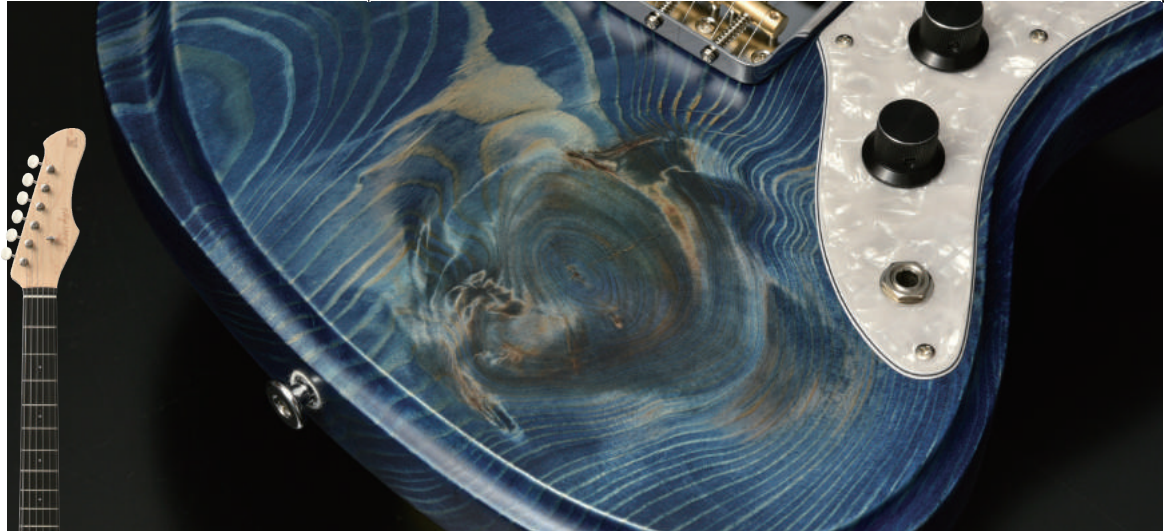
めて認識することで態度が変化している。次はこの動きをギタリスト、エンドユーザーの方へ伝わるように努めることが重要なのではないだろうか。

赤松ギターのルックスは一般的なギターと少し異なる。普通ギターづくりの素材として選ばれる木材は節が無く、木目が均一であることが重要であるが、赤松ギターはその逆を行く。節があり、シミがあり、おまけにマツクイムシに食べられた小さな穴がそこかしこに開いている。しかし、それを赤松の個性として捉えギターをデザインすることにした。

今はまだ少量の製品版が完成、流通した程度ではあるが、継続して製品を作り続けることで、少しずつ認知を広げ、知ってもらう機会を増やしていく必要があると考えている。

「ギターに使われる木はこうでなければな

らない」という既存概念を少し崩すことができれば、それは一瞬邪道に見えるかも知れないが、長い目で見たとき、ギターのあり方に幅や深みを持たせることに繋がるかも知れない。



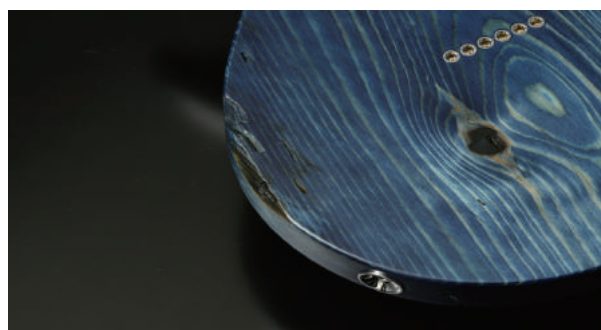
2018 楽器フェア限定カラー

デニム・ブルー！！

2018年5月の製品版発表からはや数ヶ月。2018 楽器フェアにていよいよ2ndロットの発売を開始します。今回も素材の表情を引き出すシースルーフィニッシュ。ブルー系のカラーで登場です。

SB-1 MF'18
¥140,000(税抜) Limited 20

PR-1 MF'18
¥120,000(税抜) Limited 20



荒々しい木取りはむしろ前回よりもエスカレートした印象。

特別展示

松本城敷地内の赤松を使ったエレキギター

国宝松本城の敷地内に植えられているアカマツも松枯れへの対策が取られている。この度伐採することになってしまったアカマツを使ってギターを作ることができた。

松本城は城壁が漆黒で塗り上げられており別名「烏城(からすじょう)」とも呼ばれる。そこからインスピレーションを得た新たなデザインのエレキギター。また「楽都まつもと」のイメージを指板のト音記号で表現した。

Matsumoto



JRP Matsumoto-Jou
NOT FOR SALE

SEVENTYSEVEN GUITARS

Seventy Seven
GUITARS

待望の SeventySeven Guitars 製品。今回の 2018 楽器フェアを迎えるにあたって、最後の最後までセッティングに調整を加えたのがこの SeventySeven Guitars でした。

ポイントはテールピース。伝統的な弦楽器のそれからヒントを得ながら、構造的にも外観的にも個性が加わった新しい SeventySeven。シリーズ最初期からラインナップする EXRUBATO はじめ、どのモデルもオリジナリティと愛嬌を持った愛すべきギターに仕上がりました。



EXRUBATO MF'18

¥280,000(税抜) Limited 6

STORK MF'18

¥280,000(税抜) Limited 6

HAWK MF'18

¥300,000(税抜) Limited 6

ALBATROSS MF'18

¥230,000(税抜) Limited 6

ヘッドレスギターも登場！



G6-HL/M-MF'18

¥280,000(税抜)
Limited 1

G7-HL/E-MF'18

¥360,000(税抜)
Limited 1

WOODLINE4-HL24/E

¥270,000(税抜) Limited 16

WOODLINE5-HL24/E

¥290,000(税抜) Limited 16



STR GUITARS
SINCE 2006

STR Guitars が 2018 楽器フェアに満を持して出展するのは、極上の素材を用いたフラッグシップモデル。国内有数のギターファクトリーとなった飛鳥工場の熟練の職人のみが手がける、唯一無二の価値がここに 있습니다。

高い精度、タイトなセッティング、そういったことは前提条件であり、それらを越えた高みを実機でお確かめください。



JTD0030 Yosegi
¥522,000(税抜)



OS624 ALL ROSEWOOD
¥610,000(税抜)



OS624 FLAME TOCHI
¥410,000(税抜)



スタビライズドウッド・コレクション



IS449
¥600,000(税抜)



IS549
¥660,000(税抜)



IS648
¥760,000(税抜)



DSC549
¥810,000(税抜)



DSC648
¥880,000(税抜)



DSC449
¥750,000(税抜)

真のヘッドウェイサウンドへ

カメラを向けると「もう俺はいいで。若いできるのが沢山いるんだから、そっちを撮って。」と逃げ回るのが常の百瀬。「若い者」は特に安井雅人と降幡新を指している。目立ったり、人前に出るのを極力控える熟練の職人は、勢いのある若い者が目立ってくると、個人的に助かる部分も大きいのだろう。

ただ、ギターに込めた思いは雄弁である。「弾き手に伝わる様な、何かオーラを発している様なギターを作りたい」そう思い続けて作り続けてきた50年。最近のギター作りは特に実験的だ。

「今回の楽器フェアで展示されるモデルについては、WXブレイシングが特に目立った変更点かな。」「リアシフトも試し続けて、今は少しだけ下げた『セミリアシフトXブレイシング』をよく作っている。」とはいえ言葉にはできない様々な工夫が込められたギター達、先入観を捨てて弾いてみていただくのが、良いのかも知れない。「トラディショナルなサウンドをだいたい理解してきた。これからは『本当のヘッドウェイサウンドの追求』かな。」穏やかな笑顔の中に確かな信念を感じた。

百瀬恭夫

ヘッドウェイ・マスタービルダー

ヘッドウェイのこれから

歴史があれば良いという訳じゃない。それでも積み上げてきたものがあるから、さらに高みを目指せる。ヘッドウェイを牽引する三人の職人がそれぞれに魂を込めたギターたち。



全体的にシンプルな外観にまとまっているが、控えめなデザインを好む百瀬ならではの細部に気の行き届いた装飾がアクセントになっている。HMJ-WXは今回の展示モデルの中でも最もオリジナリティを追求した一本。WXブレイシングのノンスクラップが音に大きな影響を与えている。ボディ材とブレイシング構造のバランスを追求している百瀬の現時点ではっきりと見て取れる、珠玉の3本を展示。



HMJ-WX PROTO Limited 1
¥650,000(税抜)

HD-180GC CUSTOM Limited 1
¥650,000(税抜)

HD-628 PROTO CUSTOM Limited 1
¥650,000(税抜)



今までに無いものを

安井雅人
飛鳥チームビルド・リーダー

安井雅人は自他ともに認めるところで「百瀬さんのフォロワーではない」と受け止めている。伝統的なギターを細部に渡って自分の理解に落とし込み、そこを基本として次の手を考える百瀬とは異なり、独自の目線で全体を把握したところで、全く別のペクトルのアイデアを頭の中で転がして、広げて、畳んで、、といった感じだ。天才肌というのかも知れない。ただ百瀬もその手腕には舌を巻く。曰く「あれは俺にはできねえ」。

ヘッドウェイの伝統を確かに引き継ぎながら大きくひっくり返すようなギターづくり。今回の展示モデルにもその片鱗を垣間見ることができる。



HD-450AC CUSTOM
¥1,100,000(税抜)
Limited 1

HJ-Concept
¥550,000(税抜)
Limited 1



降幡新
飛鳥チームビルド・クラフトマン

百瀬を追い、越す。

降幡新は安井とはまた違ったタイプではあるが、やはりヘッドウェイの次代を担う重要なクラフトマンである。

「まだ私のことを知っている人は少ないと思います。というか誰も知らないでしょう。だから、今回は自己紹介の気持ちを込めて仕様や見た目の幅を大きく取って、少しでも覚えてもらえるようにしたいと考えました。」と本人が言うように、まずはド派手なサクラインレイのギターに目が行く。「桜ギターはこれでもかという派手な見た目にしてみました」ただ、本人が関心高く持っているのは一見地味なHD-180とHD-280である。「百瀬さんが春頃作っていたモデルなんです

が、これを自分でもどうしてもやってみたくて。」百瀬が直々に選んだ極上材を用いて、百瀬同様に丁寧なギターづくりを心がけた。そして百瀬の型をそのまま受け止めながら、さらに飛躍するための、個性の追求も心がけている。「HXD-280 CUSTOMが現時点では自分らしい一本だと思っています。」ぜひこの楽器フェアで降幡のギターを試して、この若きマスタービルダーを知ってほしい。



HD-180 CUSTOM
¥490,000(税抜)
Limited 1

HD-280 CUSTOM
¥560,000(税抜)
Limited 1

HXC-SAKURA Extra
¥880,000(税抜)
Limited 1

HXD-280 CUSTOM
¥700,000(税抜)
Limited 1



Special Demonstration

スペシャルデモンストレーション



日常に溶け込む 優しいサウンド

Headway Guitars HOC-I 200 を長くご使用いただいているわたなべゆうさん。ギターに限らず、持ち物はできるだけ少なく、シンプルにしたいそう。おのずと身の回りには気に入ったものだけ、余計なものは少なく、というのが信条です。ライブもレコーディングも Headway のアコースティックギターが活躍しています。

待望の監修モデル「HOC-KINGFISHER」の発表を記念して、2018 楽器フェアではスペシャルデモンストレーションを開催します。

ゆうさんの柔らかく優しいサウンドは日常に寄り添いながら、ずっと心に染み込んで穏やかな気持ちになります。ゆうさんの様に弾けるにはどうしたら良いのでしょうか。「自分がどんな音楽を表現したいか、音や世界観をイメージして練習すると近道かも知れません。テクニク的な部分は少し練習すればすぐできますよ(笑)」

わたなべゆう

**HOC-KINGFISHER 発表記念
スペシャルデモンストレーション**

2018年10月20日

@ディバイザーブース (F-09)

EXHIBIT COLLECTION
at MUSIC FAIR 2018